

青梅市新生涯学習施設（仮称）基本設計のパブリック・コメント実施結果

- 1 実施期間
平成29年8月1日（火）～8月14日（月） 14日間
- 2 意見募集結果
41名
- 3 意見要旨および市の考え方

NO	意見要旨	市の考え方
1	【Ⅰ 計画概要】 新生涯施設完成後、3施設をすぐに閉鎖するのではなく、利用状況を見ながら対応して頂きたい。特に釜の淵市民館の存続を願う人が多くいます。	青梅市公共施設再編計画に基づき、青梅市新生涯学習施設（仮称）完成後、閉鎖していく方針です。
2	【Ⅰ 計画概要】 既存の建物を処理する際の記述がないようですが廃材の処理はどのようになっているのでしょうか？なるべくごみが出ない方法をお願いします。市民会館の建物の一部を記念品として考えていると聞いたような記憶がありますが教えてください。	青梅市民会館については、平成29年8月より解体工事が始まっております。解体発生材については、契約業者により分別を行い品目ごとに分けて処理を行う事となっております。建築材の一部を記念品等にする予定はありません。
3	【Ⅰ 計画概要】 青梅市民センターの図書館の役割を果たすスペースが計画されていたのでは？今回は無くなりましたがどうしてでしょうか？青梅駅前再開発計画の公益床に移したのでしょうか？ いずれにしても、河辺まで行かずに使える図書館分館をお願いします。	先に策定された青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書31ページに記載のとおり新生涯学習施設への図書館の設置の予定はありませんが、今後、市内の図書館のあり方を検討する中で、青梅地区の図書館についても検討してまいります。
4	【Ⅰ 計画概要】 青梅図書館が、市民センター化されて縮小し、さらに今後、図書館の機能が失われてしまうと聞きました。どのような形でこの地域の図書館を創っていくのでしょうか。この生涯学習施設には併設されないのでしょうか。情報化の時代、「学習施設」に情報メディアの機能がないのはおかしいと思います。ただ学習空間だけつくればよいのでしょうか。ぜひ、図書館等情報メディア機能の整備をお願いします。	先に策定された青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書31ページに記載のとおり新生涯学習施設への図書館の設置の予定はありませんが、今後、市内の図書館のあり方を検討する中で、青梅地区の図書館についても検討してまいります。
5	【Ⅰ 計画概要】 青梅市民センターほか4施設の機能を集約とありますが、青梅市民センターの図書館機能が継承されていません。図書館機能は青梅駅前再開発で予定されていると聞いておりますが、再開発までの数年間、引き続き図書館機能を青梅市民センターへ存続して頂けますようお願いいたします。	先に策定された青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書31ページに記載のとおり新生涯学習施設への図書館の設置の予定はありませんが、今後、市内の図書館のあり方を検討する中で、青梅地区の図書館についても検討してまいります。
6	【Ⅰ 計画概要】 一小的子供達のためにも・・・施設内に図書館を是非設けて頂きたい。	青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書31ページに記載のとおり青梅市新生涯学習施設（仮称）への図書館の設置の予定はありませんが、今後、市内の図書館のあり方を検討する中で、青梅地区の図書館についても検討してまいります。
7	【Ⅰ 計画概要】 永山センターを無くすのであれば、新しい施設に陶芸釜を設置お願いしたいです。	青梅市新生涯学習施設（仮称）に陶芸窯の設置の予定はありません。他施設に設置されている陶芸窯を御利用願います。

NO	意見要旨	市の考え方
8	【Ⅰ 計画概要】 私は、永山ふれあいセンターを利用している陶芸サークルに所属しています。今回の「青梅市新生涯学習施設（仮称）基本設計」に陶芸関連設備がなかった事、3月実施のパブリックコメント結果に「新生涯学習施設（仮称）に陶芸窯の設置の予定はありません」との事で、大変ガッカリしております。 いろいろと言いたい事はありますが、陶芸窯について提案をしたいと思います。 ・屋上テラス南西側に創作工房と陶芸窯小屋の設置。 ・外来者が見て楽しめるように、工房と窯小屋の北面をガラス張りにし、オープンにする。 ・ガラス張りの一部に展示棚を設け、制作途中や完成後の作品を展示し、外から閲覧可能にする。 ・左右の壁面に備品や道具の置き場（天井までの棚）を設ける。 ・粘土の泥水で排水管がつまらないよう、泥排水トラップを設ける。 以上であれば、永山ふれあいセンターの創作室と同じ用途に使えると思います。屋上テラスで何かイベントを行う際にも、大変役立つと思います。ぜひ、ご検討頂ければと思います。	青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書のとおり陶芸窯の設置の予定はありません。
9	【Ⅰ 計画概要】 永山ふれあいセンターが閉館になった後、青梅市新生涯学習施設で陶芸活動が出来ると思っていましたが、基本設計の中にはそのような活動が出来るスペースが無い様に思われます。今後、陶芸活動が出来なくなってしまう事をとても危惧しています。要望として、新生涯学習施設の中で、作業室、陶芸窯の設置をお願いしたい。	青梅市新生涯学習施設（仮称）に陶芸窯の設置の予定はありません。他施設に設置されている陶芸窯を御利用願います。
10	【Ⅰ 計画概要】 永山ふれあいセンターの陶芸窯やプレハブの建物はまだ使用できます。青梅市の文化活動を推進していくためにも、永山ふれあいセンターの閉鎖に何らかの対処をお願いいたします。閉館後の今後どうしていけばいいのか、具体的なお話を聞かせていただければと思います。	青梅市公共施設再編計画に基づき、施設運営の効率化や耐震性の問題から新生涯学習施設（仮称）完成後、閉鎖していく方針です。他施設に設置されている陶芸窯を御使用願います。
11	【Ⅰ 計画概要】 市の中心部にりっぱな大きな建物を作るよりは、今あるりっぱな市役所の日常使われない部屋を有効活用し、拠点は市役所に置き、今ある各地域の市民センターの設備や活動内容を充実して、地域の人が気軽に、施設までの交通費などの出費もあまりなく利用できることが大事だと思う。また、住居から離れていると、その会場に行くまでの時間と道中を考え、利用を控える人もでてくる。これでは新生涯学習施設の恩恵を受けられるのは一部の人に限られてしまう。同じ税金を払っているのに不公平である。	ご意見として承ります。
12	【Ⅰ 計画概要】 青梅市は他の市町村に比べて、非常に税金、水道料等が高い。また、これからの青梅を担う子供達へかける教育費は周りの市町村に比べ少ない。	ご意見として承ります。

NO	意見要旨	市の考え方
13	【Ⅰ 計画概要】 新施設の建築・維持管理には多額の費用がかかる。今ある施設を充実し、浮いたお金を市民に還元する方法を考えてほしい。	ご意見として承ります。
14	【Ⅰ 計画概要】 多目的ホールの申し込み方法は、どのような方式になりますか。	市民会館時と同様に、一年前からの予約開始を計画しております。
15	【Ⅰ 計画概要】 生涯学習センターの利用料金について、施設設備の改良に伴い料金の上昇が懸念されます。引き続き使いやすい料金設定をお願いします。また、開館に先立ちなるべく早い時期に新料金の公表をお願いします。	利用料金につきましては、条例の制定後、速やかに公表してまいります。
16	【Ⅰ 計画概要】 今度、来月1日号の広報を見てびっくり既存の福祉センターまでなくして新しい生涯学習施設を作るそうですね！その説明会ないまま一方的にいきなり広報で意見を述べてください！は発表があつてすぐですのでびっくり！いたしました。市側としてはこれから各地域で説明会をなさるのでしょうか？それだったら民意も反映される可能性もあるのですが……。これで市側が一方的に決められ結局、民意の反映されない青梅市生涯学習施設になるのではないのでしょうか。	今回の計画は青梅市民会館のあった場所に「青梅市生涯学習施設（仮称）」建築を計画するものであり、福祉センターとは関係していません。
17	【Ⅰ 計画概要】 ゆとりぎのように中ホール小ホールが出来ていますが、使い易いミニコンサート・講演会等に使用できる中ホールも作って頂きたい！と思います。小ホールは青梅市民会館でできるそうですが……。奥多摩等にも近いところとしてぜひ充実し、大・中ホールを作って頂きたい！と思います。今まで福祉センターを利用させていただいていた者にとって、集会所や小ホール（集会所・講演会等）に使えるスペースもしっかり確保して欲しい！と思います。このところ、あちらこちらの市民センター等が廃止されて、なかなか小集会所や習い事の会も会場が取れず、困っていると聞きますので……。中集会所・小集会所も作っていただきたい！と思います。（福祉センターは結構集会室がありましたので……。）	先に策定された「青梅市生涯学習施設（仮称）基本計画書」9ページに記載のとおり、青梅市民会館が備えている大ホール機能は、東青梅1丁目地内諸事業用地の利活用内で、別途検討を行ってまいります。青梅市生涯学習施設（仮称）でも大・中・小の三種類の活動室を計画しておりますので、習い事等の会場として使用が可能です。なお、福祉センターとは関係していません。
18	【Ⅰ 計画概要】 ケミコン跡地に作る建物の中に、青梅で最初の児童館を作ってください。場所的にも子どもが来やすい場所です。今の子ども広場のような物とは全く違うものです。	ご意見として承ります。
19	【Ⅰ 計画概要】 青梅市は児童館がありません。小・中・高校生の行き場をぜひ作ってほしい！片親・共働きの多い中、小・中・高校生の集いの場をぜひ作ってほしい！と思うものです。	ご意見として承ります。
20	【Ⅰ 計画概要】 施設の管理運営団体については、市民活動団体と市による「協働体制」を検討してみたいかがでしょう。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。

NO	意見要旨	市の考え方
21	【Ⅰ 計画概要】 利用者にやさしい心の通った対応等「ソフト面」でのサービスも欠かせないことだと思います。	ソフト面のサービスも進めてまいります。
22	【Ⅰ 計画概要】 今回は、基本設計ということですので触れられていないようですが、運営を誰がどのようにしていくのか、この施設にとっては一番重要な気がしています。ハードを進めると同時に、ソフトの面も早めの準備が必要ではないでしょうか。	ソフト面のサービスも進めてまいります。
23	【Ⅰ 計画概要】 全体を通し、「利用者視点重視」に立った設計が必要だと思います。改めて市民の意見を聞く機会を設けていただきたいと思います。 特にキッズルームの安全で快適な利用については、市内の子育てひろば等で子ども関連の運営管理にあたっている市民団体の意見を傾聴することで、目的にそぐわない間取りや備品等の配置、不要な設備へのコストを抑えることが出来ると思います。	今回のパブリックコメントによって、様々な意見を頂きました。今後については、意見を集約させていただき可能な範囲で実施設計に反映してまいります。
24	【Ⅰ 計画概要】 市民参画の運営方法、指定管理・運営委託なので方法をいれながら（すべてでなくて）柔軟で豊かな運営ができたらと考えます。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
25	【Ⅰ 計画概要】 貸館に止まらず、市民の学びや体験活動の場になるようなプログラムを積極的に展開できるとよいですね。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
26	【Ⅰ 計画概要】 市内在住の団体や芸術家との連携を深めて、会館の運営を盛り上げるだけでは無く、青梅という町が楽しく住みやすくなるような拠点の一つになればよいですね。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。

NO	意見要旨	市の考え方
27	【Ⅰ 計画概要】 この地域は、北側の永山丘陵（青梅の森）と南側の多摩川にはさまれた、たいへん自然豊かな環境にあります。先日は、NHKのテレビ番組にもこの永山の自然（ホタル、ミドリシジミ、サンショウウオ、野鳥など）が取り上げられました。すぐ近くには、天然記念物のシダレザクラもあります。この自然を活かし、子どもから大人まで広く自然について学ぶ機能を備えた施設にしていきたいと思います。身近な自然を観察、体験することのできる、自然学習の拠点となる施設です。この施設を拠点に、ハイキングコースや多摩川などへ自然観察に出かけられるように散策路も整備してほしいと思います。また、夜は星もよく見えます。天体観測を体験できる設備も整え、観察会等が開かれるようにしていきたいと思います。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
28	【Ⅰ 計画概要】 施設を貸し出しするという視点だけない、生涯学習という言葉に添える機能を果たすためにも、専門人材の配置は必須だと考えます。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
29	【Ⅰ 計画概要】 この施設の北側は、「七兵衛通り」として、今後、青梅地区の特色ある街並みを創るための大切な通りです。朝夕の通勤・通学路ともなっています。この大切な通りに面した側に何の工夫もされないのは、街並みを創る上で、大きな障害となります。ぜひ、建物北側について、道路を含めて工夫をしていただき、青梅の自然・歴史・文化を感じさせる、雰囲気ある街並みを創っていただきたいと思います。 また、青梅駅からも多くの人々が、その雰囲気を楽しむために足を運んでくるような工夫をし、青梅市活性化の起爆剤としてほしいと思います。	ご意見として承ります。
30	【Ⅰ 計画概要】 「だれもがふらっと気軽に立ち寄りたくなる」ようにするためには、店舗の設置も必要だと思います。ただ見るだけではなく、買って学ぶことのできるスペースも必要ではないでしょうか。 例えば、青梅の特産物、自然・歴史・文化を知るグッズ・書籍等、「学び」を買うことも必要だと思います。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。

NO	意見要旨	市の考え方
31	【Ⅱ 建築計画 1階】 1階に設置予定のカフェコーナー拡充の意見です。これだけの大規模な生涯学習施設となると相当数の利用者が見込まれ滞在時間も長時間になる方がいらっしゃると思います。 基本的に活動室等での飲食については難しいと考えますが、軽食などの販売も含め検討できないでしょうか。 イメージとしては、小さいものであればキオスク程度の販売ブース、大きいものであればコンビニ相当のものが考えられないでしょうか。そしてこの業者さんにカフェコーナー管理の一部を委託していくようなイメージです。ご検討ください。	館内での飲食は、管理上の支障が無い範囲で認めて行く計画です。軽食の提供については、キッチンカー等の活用も視野に入れ検討しております。
32	【Ⅱ 建築計画 1階】 ホワイエについて、カフェコーナーはこちら南側ではなく東側にあった方がよいと思う。また『ふらっと立ち寄る』ためには、このカフェがどれくらい魅力的かで呼び込み力は変わる。恐らくコーヒーの自販機を置くだけの予定かもしれないが、それだとほとんど意味がない。スペース的に難しいかもしれないが、これくらいのスペースでスタバやドトールは出店しているはずなので、収益や集客の面からみて軽食くらいの利用はできるようにした方がよいと思う。個人の出店も募集検討してみる等。ホワイエの窓側にずっとテーブルを置いて細長いスペースをカフェスペースとするならホワイエとしての機能も保たれるはず。道路からの視認性もありお洒落な外観にもなる。ホワイエスペースとカフェスペースの間仕切りを兼ねて、雑誌や書籍を並べた本棚を並べるとさらに魅力的なスペースに。	基本設計6ページに記載のとおり、オープンスペースの活用を含め、今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。軽食の提供については、キッチンカー等の活用も視野に入れ検討しております。
33	【Ⅱ 建築計画 1階】 カフェの運営を委託するにしても、運営幅をもたせてユニークで楽しくなるような経営が出来たらと思います。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
34	【Ⅱ 建築計画 1階】 この地域は、青梅駅が近く、奥多摩街道が通り、観光客等も訪れますが、食事をする場所があまりなく、不便です。また、生涯学習施設を多くの人々に気軽に活用してもらうには、食事の施設が不可欠です。 カフェコーナーの発想はありがたいと思いますが、もっと広いスペースを使い、レストランにすることはできないでしょうか。そのほうがより多くの人々に喜ばれると思います。	基本設計6ページに記載のとおり、全面開放可能な建具を使用することにより、ひろばと一体的に利用可能になるため、オープンカフェのように使用することが可能です。 なお、レストランの設置については考えておりません。
35	【Ⅱ 建築計画 1階】 人件費・スペースなどの問題で自販機に頼らざるを得ないかと思いますが、ドリンク類などのサービスについて、案内と兼用することで、サービスが可能になるのでは。	案内については、施設内イベント等の案内を想定しており、カフェ機能との兼用は考えておりません。
36	【Ⅱ 建築計画 1階】 多目的ホールの階の女性用トイレが3つしかない。休憩時間や催し物が終わった時に利用するケースが多く、混み合うのでトイレを増やしていただけないでしょうか。	混雑時は別階のトイレを御利用いただく計画ですが、数を増やすかどうか、実施設計で検討してまいります。

NO	意見要旨	市の考え方
37	【Ⅱ 建築計画 1階】 トイレの数は足りますか？271席のホールに対し、だれでもトイレ×1、男子小×3、男子大×2、女子×3では、心もとないのでは？ましてや「ホール」という特性上、トイレ利用者が集中する事が想定される場所だと思いますが、如何でしょうか？青梅マラソン等の大きな行事の際にも使用される施設としての活用も見据えているとの事ですが、その場合にはトイレを南側に設備した方が利便性も上がるのでは？と思います。建屋内の設置が難しければ、屋外広場の一角に設けるのも一案では？	混雑時は別階のトイレを御利用いただく計画ですが、数を増やせるかどうか、実施設計で検討してまいります。
38	【Ⅱ 建築計画 1階】 多機能トイレが1階にしかないのが気にかかる。みんなのトイレや多機能トイレは全階が望ましい。	数を増やせるかどうか、実施設計で検討してまいります。
39	【Ⅱ 建築計画 1階】 1階のトイレの数が少ないと思います。女子トイレの数は最低でも倍の6～8は必要と考えます。	混雑時は別階のトイレを御利用いただく計画ですが、数を増やせるかどうか、実施設計で検討してまいります。
40	【Ⅱ 建築計画 1階】 1階北側トイレが奥にあるため、ホール公演時、休憩時間に並ぶ人と、出演者の混乱が予想されます。また、女子のブースが3つでは、どう考えても「ホール」の性質上、難しいと思います。	混雑時は別階のトイレを御利用いただく計画ですが、数を増やせるかどうか、実施設計で検討してまいります。
41	【Ⅱ 建築計画 1階】 楽屋について、舞台と直結した楽屋がないことは、出演者にはこの上なく不都合である。 特に衣裳やメイクアップをする必要がある催しでは、舞台に流れに大いに支障をきたすことがある。客席数、会場自体を一回り小さいものにすれば楽屋も作れるだろうし、昇降舞台も上手・下手の隙間なしにできるのではないだろうか？	ご意見として承ります。
42	【Ⅱ 建築計画 1階】 照明・音響機材が活用できる施設か否か。照明や音響の設備にも考慮とあるが、このホールではいずれも有効に使える機会が限られ、宝の持ち腐れ状態になるだろう。	ご意見として承ります。
43	【Ⅱ 建築計画 1階】 プレハブ程度の造りで十分かと思いますが、雨天時の備品搬出入も想定されるので車寄せは確保して欲しいです。	荷捌き場の底について、実施設計に反映します。

NO	意見要旨	市の考え方
44	【Ⅱ 建築計画 1階】 給湯設備について、青梅マラソンや青梅大祭等の大きな行事の際に事務局・大祭本部として使用される場合、1階南側にも給湯設備があった方が利便性が上がるのでは？	1階南側についてはカフェコーナーにて給湯設備を計画しております。大きな行事の際には、南側ひろばを活用した運用を想定しております。
45	【Ⅱ 建築計画 1階】 1階展示交流スペースについて、市民センターを普段利用しない人は、新しい施設ができて特に用がないのでわざわざ訪れることはない。こういった方々にも、まずは『ふらっと立ち寄る』ためには今までにない仕掛けが必要。『ふらっと立ち寄りたくなる空間』の作り方として、例えば定期的なフリマ開催。屋外での開催はいくつかあるが、暑さ寒さ・天候不順のリスクがないのでどんな年齢層にも利用しやすく、街道沿いからの視認性も高い場所でのフリマは新たな地域交流を生み出すコンテンツになる可能性も。 また産直野菜が置いてあったり、また個人のギャラリースペースとして1日貸し出す等（その場合、駅近の路面店の相場より少し安い程度の利用料をちゃんと取る）。そうした利用もできるような空間をお願いしたい。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
46	【Ⅱ 建築計画 1階】 青梅駅前には観光案内所がありますが来青梅された方がそこをスルーして新施設に立ち寄った際に小さなスペースでも構いませんが多摩川への案内、稲葉家、金剛寺、美術館、釜ヶ淵・郷土博物館・宮崎家などへの案内ができるスペースが欲しいように感じますがいかがでしょうか？	デジタルサイネージ等を計画しております。
47	【Ⅱ 建築計画 1階】 カフェコーナーを設置することは利用者の利便上ありがたい。計画図ではどのような形態になるかわからないが、次の場合について意見を述べる。 カウンターを設け有人で対応する場合、 1) 活動室への配達ができるような業者を選定する。 2) 特に使用が予定されていない時は“ひろば”をオープンカフェに使えるようにする。 自販機のみを設置する場合、 1) カン・ペットボトルだけでなく。カップでコーヒー等を提供できる機械を設置する。お盆の用意も。 2) 3階の小活動室の部分に同様なカフェコーナーを設置する。	基本設計6ページに記載のとおり、オープンスペースの活用を含め、今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
48	【Ⅱ 建築計画 1階】 スペースが狭小な中、カフェスペースが設置されているのは良い。ただし、給排水設備キッチンもないので、カフェ運営の内容は民間事業者へ委託することを想定し、事業者の利益率にも配慮できるよう、各種調理済み食品などの販売にも対応できるほうが良い。または、駐車スペースとしてとってある南側前面道路には、常設でキッチンカーが販売に常駐するなどもよい。	軽食の提供については、キッチンカー等の活用も視野に入れ検討しております。

NO	意見要旨	市の考え方
49	【Ⅱ 建築計画 1階】 カフェ面積が小さいように感じる。南側開口部一面はカフェスペースとしてはどうか。また、完成予想図では、カフェ廻りの雰囲気が賑わって利用されているようには見えないため、ひろば部分にも客席を設置するか、フルオープンできる開口にして、カフェの楽しい雰囲気が可視化されるようにしてほしい。	基本設計6ページに記載のとおり、全面開放可能な建具を使用することにより、ひろばと一体的に利用可能になるため、オープンカフェのように使用することが可能です。
50	【Ⅱ 建築計画 1階】 カフェコーナー面積から推察すると、自販機コーナーか？もしそうならば、中央図書館コーヒーマシンの様なものに加えて、都心部で利用されている、「自販式コンビニ」も検討して欲しい。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
51	【Ⅱ 建築計画 1階】 山車人形の展示スペースは、日当たりが良過ぎませんか？川越まつり会館や飛騨高山の高山祭会館等の実物展示室は全て紫外線の影響を受けない環境で展示されていたと記憶しています。文化資産に対して過酷な環境では、協力してくれる団体がいないのでは？	展示物に配慮した環境を、可能な範囲で実施設計に反映します。
52	【Ⅱ 建築計画 1階】 山車人形展示スペースを作っていただけることは、市民や来街者に青梅の文化を認知していただく機会が増えるので賛成であるが、以下の点の考慮をお願いする。 1) 直射日光が当たらないこと、エアコンの風が直接当たらないよう考慮する。 2) 来館者が自由に手に触れることのないような囲いを設備する。 3) 人形、特に衣装の保存上、展示することで虫干しの効果があり歓迎するが、長期になると消耗することもあるので1回の展示期間は関係者の意見を聞いて決定する。 4) 人形を展示するには、人形を持ってきて着付けをすればいいといった簡単なものではない。片付けを入れるとかなりの労力が必要になる。町内の負担が大きいことを承知してほしい。 5) 山車人形全体ではなく、頭部だけとか部分的な展示も考慮する。 6) 説明文を用意する。 7) 支度・片付けをするときには相当の場所が必要であり、通路が塞がることを承知してほしい。 8) 山車人形だけでなく、市内の獅子舞や御岳山太神楽の衣装などの民俗資料の展示も考慮する。	展示物に配慮した環境を、可能な範囲で実施設計に反映します。
53	【Ⅱ 建築計画 1階】 山車人形の設置は、展示スペースは全体空間に配慮したモダンなテイストにしてほしい。	ご意見として承ります。
54	【Ⅱ 建築計画 1階】 1階の「案内」は駐車場を有する北側からの出入りが多いことを考え、ホワイエあたりに設置してはどうでしょう？	カフェコーナー等、南側からの利用が多いことを想定しているため、南側に設置しております。また、北側エントランスからの利用者からわかりやすい「案内」のサインを計画しております。

NO	意見要旨	市の考え方
55	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールは可動式（椅子タイプ）を希望します。客席環境を優先し、客席195でも可動式にしてほしい。（あきる野市のふれあいセンターを参考に）	多目的ホールの客席については、ホールと展示交流スペース、ひろばを一体的に利用する目的があり、また、300人程度の席数を求める前回のパブリックコメント等での意見もあったことから、なるべく多くの席数が確保できるスタッキングチェア案を採用しました。 ひな壇式の観客席については、ユニットごと移動できるものを備品調達時に検討してまいります。
56	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールの客席について、スタッキングチェア案を採用するとしていますが、ステージが見づらくなり、観客が十分に観賞することが出来ないのも、コストがかかっても見やすい客席にしていきたい。	多目的ホールの客席については、ホールと展示交流スペース、ひろばを一体的に利用する目的があり、また、300人程度の席数を求める前回のパブリックコメント等での意見もあったことから、なるべく多くの席数が確保できるスタッキングチェア案を採用しました。 ひな壇式の観客席については、ユニットごと移動できるものを備品調達時に検討してまいります。
57	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 市民会館が閉鎖され、新たに多目的ホール建設の計画があることを知って非常に期待をしていたのですが、建設案を見せて戴いたところ、残念ながら芸術活動の場としては活用できないものであることを痛感しております。 すでに第3案に決定しているようですが、展示会、講演会、フラットスペースを生かした交流の場としてならば活用できるだろうが、アマチュア、プロを問わず市民の文化活動（音楽・演劇・舞踊など）の発表の場としては利用可能なものは極端に制限されるでしょう。 これでは市民会館の機能を考慮したホールとはとても言えない施設です。 果たしてどのような活用を念頭に置いておられるのかお聞きしたいところです。	基本設計2ページに記載のとおり、老若男女問わず多世代に渡る憩いの場として、市民の生涯学習機会の充実を図る目的で整備をしております。 また、先に策定された「青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書」9ページに記載のとおり、青梅市民会館が備えている大ホール機能は、東青梅1丁目地内諸事業用地の利活用内で、別途検討を行ってまいります。
58	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 フラットな客席の問題点に「多少見づらい難点がある。」とありますがこれは多少ではなく致命的なことです。 舞台を経験した人、舞台鑑賞が好きな人ならすぐわかるが、仮にステージが昇降したとしてもフラットな客席の場合3列目以降はみづらくなること。 ステージを学校の体育館兼講堂のように高くすれば見えることは見えるが、この形では演じられる内容が頭の上を通り過ぎていくことになり、ステージと客席の一体感が生まれない。 鑑賞や発表の場としての活用も考えているのであれば第3案（客席全てスタッキングチェア）程利用に適さないものはない。	多目的ホールの客席については、ホールと展示交流スペース、ひろばを一体的に利用する目的があり、また、300人程度の席数を求める前回のパブリックコメント等での意見もあったことから、なるべく多くの席数が確保できるスタッキングチェア案を採用しました。 ひな壇式の観客席については、ユニットごと移動できるものを備品調達時に検討してまいります。

NO	意見要旨	市の考え方
59	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 そもそも収容人数を250以上にした根拠は何なのか？ 客席を一番コストがかからないものにした理由は何か？ 双方の疑問から、そもそもこのホールはステージを芸術・芸能の発表・鑑賞の場としては全く考えていなかったと思えるのだからいかがでしょうか？	多目的ホールの客席については、ホールと展示交流スペース、ひろばを一体的に利用する目的があり、また、300人程度の席数を求める前回のパブリックコメント等での意見もあったことから、なるべく多くの席数が確保できる案を採用しました。 なお、研修や講演会などや、市民が生涯学習を通じて得た成果を発表、鑑賞する場として計画しております。
60	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 もしも多少なりとも考えておられるのなら、まだ建設に入っていない今からでも専門家の意見を聞き、少しでも使い勝手の良いホールにするための努力をしていただきたいと思います。急いで作って後から使い勝手の悪い中途半端な施設になってしまつては結局利用される機会も減るでしょう。 むしろ最初は経費が掛かるが、またメンテナンスなど維持費が掛かってもしっかりしたホールであれば、交通の便や立地場所の良さから市内はもとより市外からの利用も増え、青梅市の活性化につながると思うのです。 多目的ホールがいつれの利用においても中途半端なものになり、利用がなされなくなっている例を各地で見えています。 青梅市のこの施設がその二の舞を踏むことがないように心より願うものです。	ご意見として承ります。
61	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールのスタッキングチェア方式はコスト面・機動面において、評価されると思われる反面、無機質な体育館のようなイメージが付きまとうため、内部環境には十分な配慮が必要になると思います。 100～150席程度の会場の場合、後半部分に広い空間が出来てしまい、雰囲気阻害するほか、音が抜ける事態が生じます。 移動間仕切り壁を中央付近まで移動可能にするか中央付近に新たに設置可能な形を採用して頂きたい。 市販の移動式パネルがあると便利かと思えます。	多目的ホールの中央部天井高は2フロア分となるため、現在の位置より中央に間仕切を移動させる事は困難です。
62	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールの椅子について、ステージが昇降型であるのはとても良いと思うが、椅子があまりにも残念です。せっかく市民の生涯学習発表の場として活用出来るものにするなら、ぜひ可動席①の案にして欲しい。必要に応じて平場にして椅子を並べるのも良いが、音楽発表や講演会などステージを活用するホールであるなら、それに対応出来るひな壇形式の客席にするのが当然だと思います。 平場に椅子を並べるのだったら、市役所の会議室や福祉センターの集会室がすでに利用されています。どうかよろしくお願い致します。	多目的ホールの客席については、ホールと展示交流スペース、ひろばを一体的に利用する目的があり、また、300人程度の席数を求める前回のパブリックコメント等での意見もあったことから、なるべく多くの席数が確保できるスタッキングチェア案を採用しました。 ひな壇式の観客席については、ユニットごと移動できるものを備品調達時に検討してまいります。

NO	意見要旨	市の考え方
63	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ホールの形態は座席数が最も確保できる方式を〇としますが座席部分の座り心地（柔らかさ等）に難点があるようでしたら、座席数が若干減少したとしても座り心地の良い方を望みます。高齢社会ですので。	備品調達の中で検討してまいります。
64	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールの椅子について、配置作業を誰が行うのでしょうか。ホール使用者が行う場合、ロビー受付テーブルの取り扱いを含めて、どのタイミングで実施できますか。	今後、管理運営方法の中で検討してまいります。
65	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 客席のスタッキング椅子での鑑賞ですと、前の人の頭や体で後ろの人は大変見にくいです。自分の背の高さにもよりますが、とても長く鑑賞を楽しむ気持ちになれないと想像できます。	多目的ホールの客席については、ホールと展示交流スペース、ひろばを一体的に利用する目的があり、また、300人程度の席数を求める前回のパブリックコメント等での意見もあったことから、なるべく多くの席数が確保できるスタッキングチェア案を採用しました。 ひな壇式の観客席については、ユニットごと移動できるものを備品調達時に検討してまいります。
66	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ホールのスタッキングチェアは、壁床天井の色味と合わせて空間で色を統一して無彩色などが良いのではないか。（いかにも公共施設っぽい色のイスになるだけでセンスのないものに見えてしまう。）	備品調達の中で検討してまいります。
67	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールのスタッキングチェア281席案採用に反対。普段は広いスペースとして開放しつつもステージが見えない会場は悪評価につながると思う。前列2列にベンチタイプを固定しつつも、後ろは「ゆとりぎ」のような収納タイプの階段式を希望。	多目的ホールの客席については、ホールと展示交流スペース、ひろばを一体的に利用する目的があり、また、300人程度の席数を求める前回のパブリックコメント等での意見もあったことから、なるべく多くの席数が確保できるスタッキングチェア案を採用しました。 ひな壇式の観客席については、ユニットごと移動できるものを備品調達時に検討してまいります。
68	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ステージを見やすくする、客席の在り方を検討する必要がありますと考えます。今の案では、経費は少ないですが、ステージが見えづらく利用価値が下がりそうです。段差のある客席を工夫できないでしょうか？ また、ステージの南側の壁を移動方式にしてオープン化出来ないでしょうか？お祭りなどでは、南側の広場からステージが見えるようにできたらよいのではと思います。 広場と一体化できるイベントがつくれるようになります。 二重扉があるとよいですね。	多目的ホールの客席については、ホールと展示交流スペース、ひろばを一体的に利用する目的があり、また、300人程度の席数を求める前回のパブリックコメント等での意見もあったことから、なるべく多くの席数が確保できるスタッキングチェア案を採用しました。 ひな壇式の観客席については、ユニットごと移動できるものを備品調達時に検討してまいります。 多目的ホール南側の壁はオープンにすることは可能です。
69	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ホールには音楽の発表会可能な音響設備が必要、最低限のマイクとスピーカー、反響板を設置、加えてそれなりの照明もほしい。（講演会、研修会のみならず芸術の発表の場として活用できる。）	可能な範囲で、実施設計に反映します。
70	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 音響と照明には十二分な設備が必要である。ホールを満足して使ってもらうには大きさよりも環境の良さが重視される時代になっている。小舞台での演劇や演奏など青梅の新たな文化創造に結び付く可能性が大きい。	可能な範囲で、実施設計に反映します。

NO	意見要旨	市の考え方
71	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 音響設備について、具体的な説明が不足しているため、どの程度音響対策がなされるかが不明です。舞台だけでなくホール全体の音響効果に配慮願います。	可能な範囲で、実施設計に反映します。
72	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 新生涯学習施設という性格の施設の中にある多目的ホールは、多くの場合、舞台機構が専門的な機能を備えつけていない場合が多く、舞台公演の場合に効果を下げることがよくあります。小空間であるからこそ、本物の舞台装置、音響、照明が必要です。そのあたりを十分に考慮して頂きたいと思います。	可能な範囲で、実施設計に反映します。
73	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールなので、照明機材をスペース全体の天井につけるようにしておけば、いろんなニーズに合った照明が展開でき利用が増える上に特色となります。	可能な範囲で、実施設計に反映します。
74	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ピアノは用意されますが、新品をお願いします。 (市民会館のピアノは型が古く音源調律が不能、利用者の声)	備品調達の中で検討してまいります。
75	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ステージが丸出しなのでイベントによっては、簡易的なついたてが必要です。(袖幕も緞帳もないので)	袖幕等の設置を、実施設計に反映します。
76	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 昇降ステージに関して、上手、下手が低くなる島のような昇降ステージは非常に危険であること。 照明が暗くなった際、あるいは暗転での登場・退場時に子供やお年寄りには介助が必要になる。 例えばダンスなどの場合は駆け込むような場面や暗転での場面転換ができない。	昇降ステージの上手、下手側については、落下等の危険防止措置を検討します。
77	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ホールについて、ステージは昇降式にする必要はあるのか？恐らくホールを利用する方々はほとんどステージを必要とするのではないかと。昇降式にすることで、収納スペースの限度があるのでステージの高さを出せないこともあると思うが、座席をひな壇式ではなくフラット式に決定したのであれば、後ろの席まで見えるようなステージの高さは確保できるのか。ステージを固定にすることで、小学校体育館のようにステージ下を椅子等を収納できる倉庫スペースとして利用可能にもなる。またその代わりにホール右側の倉庫スペースが一つ減り、ホール用控室の設置も可能になる。	基本設計6ページに記載のとおり、平床としての多目的ホールを活用することも検討しております。また、ホール用控室は、地下1階の小活動室1を控室として利用できるよう、実施設計に反映してまいります。

NO	意見要旨	市の考え方
78	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ステージの奥行が4mなのは狭い感じがするが、活動団体にステージの広さのアンケートで確認が必要かと思う。狭くて使えないのであれば、そもそもホールとして利用できない。また袖幕のようなものも必要ではないのか。	昇降ステージについては、地下の柱・梁の影響により、これ以上大きくできません。袖幕等の設置については、実施設計に反映します。
79	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールの昇降ステージは2メートル位奥行きを広くできないか。建物の構造上ステージの奥行きを広げることとは無理だと思うので、仮設のステージ（箱のようなもの）を昇降ステージの前に設置することで必要な時には舞台を広くすることを考慮できるのではないか。	昇降ステージについては、地下の柱・梁の影響により、これ以上大きくできません。 仮設ステージについては、備品調達の中で検討してまいります。
80	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 ピアノの発表会など少人数での公演ならば、10×4のステージで十分かもしれませんが、バレエ、ヒップホップ、ジャズダンス、フラダンス等は広いステージが必要です。ステージまでの足場も危険の無いよう、子供達にも素晴らしい舞台を表現できますから、演じる側も見る側もストレスの無い舞台をお願いしたいです。	昇降ステージについては、地下の柱・梁の影響により、これ以上大きくできません。なお、落下等の危険防止措置を検討します。
81	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールについて、演者、出演者の控室は、どこになるのでしょうか？まさか「倉庫1」！？2階は事務所やキッズルームが中心なので、3階かな？とも思いましたが、EV・階段、何れのルートであっても一般の方が利用するトイレの動線と被るのでは？	地下1階の小活動室1を控室としても利用できるよう、実施設計に反映してまいります。
82	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 そもそも、このホールの大きさにした理由は？別途1,000席規模の大ホール計画もありますので、本ホールの位置付けが不明確です。 「防災対策目的」も兼ねているのであればホールではなく、既に計画されている移動式間仕切で仕切った活動室としての利用を重視しても良いのでは？（吹抜けも勿体ない・・・）	先に策定された青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書9ページに記載のとおり、研修や講演会など、市民が生涯学習を通じて得た成果の発表や観賞する場として多目的ホールを計画しました。
83	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 大ホールだけでなく小ホールも必要ではないでしょうか。	先に策定された青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書9ページに記載のとおり、青梅市民会館が備えている大ホール機能は、青梅市公共施設再編計画において東青梅1丁目地内諸事業用地の利活用の中で、別途検討を行ってまいります。
84	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 映画看板が有名な青梅です。看板の何枚かが常設で展示できるような考えはありますか？また、看板はあるが映画館が無い青梅。新しいホールには映画上映設備はありますか？教えてください。	映画看板の展示については、予定しておりません。映画上映に関してはプロジェクターの設置を検討しております。
85	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 市民会館は、ホール入口が二重扉でした。イベント中のドアの開閉や外からの音については避けていただく工夫をお願いいたします。	基本設計6ページに記載のとおり、防音・防振機能に配慮した多目的空間として計画しております。 ただし、扉につきましては、一重扉で計画します。

NO	意見要旨	市の考え方
86	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 グランドピアノを多目的ホール東側倉庫に格納すると思われませんが、ピアノやマイクの備品に関して、市民会館使用当時の使用規定に準ずると思っております。	使用料金については、今後決定してまいります。
87	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 「多目的ホール」の移動間仕切壁を普段は外して、スタッキングチェアを利用した軽食が出来る椅子スペースを、作ってほしい。	飲食については、カフェコーナーや広場が中心と考えております。
88	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールには、隣接する「待機スペース」が必要だと思います。北側にトイレ・階段・エレベーターが設置されていることを考えると、安全確保の観点から、広い「動線」の確保が必要ではないでしょうか。	地下1階の小活動室1を控室としても利用できるよう、実施設計に反映します。
89	【Ⅱ 建築計画 1階多目的ホール】 多目的ホールについて、荷物の搬入ルートと人のルートを別にできるとよいと思います。	荷物のルートについては西側荷捌きスペースから直接搬入することを想定しております。
90	【Ⅱ 建築計画 2階】 2階「交流スペース1（10席）」の目的が不明です。子連れの親子がいる中で唐突に交流スペースがあると、お互いに遠慮してしまう事が考えられます。キッズルームの流れなので、子供向けスペースを拡充した方が良いのでは？	基本設計12ページに記載のとおり、多目的ホールを2階から観賞可能としています。
91	【Ⅱ 建築計画 2階】 キッズルームについて、授乳室があるのはありがたい。キッズテーブルスペースがあるが、小上がりになっているのだろうか？1歳未満の子供を抱えるママ達がランチやお茶ができるのは、赤ちゃんを寝転ばせておける座敷がある店に限定されてしまうが、この周辺にはそういったお店が本当に少ない。特に0歳児の時期は育児の悩みもつきないので、1階のカフェで購入したものをここでお茶しながらおしゃべり発散できる場所にしていただけたら最高。また乳児はほとんど動けないので、乳児用の遊具はこのスペースの壁面に設置されていると、乳児と幼児のスペースを分ける意味でも良いと思う。	キッズ（幼児）とキッズ（児童）と記載してあるスペースは小上がり（靴を脱いで遊ぶ場所）となっております。キッズテーブルと記載してあるスペースは土足となっております。遊具については、ご意見として承ります。

NO	意見要旨	市の考え方
92	【Ⅱ 建築計画 2階】 キッズルームについて、遊ぶスペースはあまり広さはなさそうなので難しいが、例えばボールプール等はコストや手間もかからず、わりと幅広い年齢層の子どもが楽しめるツールだと思う。よく列車内のキッズスペースとして採用されている。おもちゃ等は各家庭にもあるので、家ではできない体を動かすような遊びができるという。トランポリンも人気が高い。壁にバスケットリングを貼った幼児用のシュートコーナー、壁面にボルダリングの突起を設置したり、天井から太めのロープを吊り下げたり。室内バタールゴルフとか輪投げとか。また数人で遊べるようなカードゲーム、ボードゲーム。スペースの一角にプラレール等の線路を固定で組んでしまっ（片付けが大変なので）、2帖くらいのスペースがあれば大きいコースができるので男の子達は何人でも延々と遊ぶ。（おもちゃは市民に寄付を募集。意外と眠っている遊具は多い）この辺のファミリー世帯は、イオンモールやみずほモールの全天候型有料キッズスペースに高い入場料を払って子供を遊ばせている。ただおもちゃをいくつか置いただけの無料スペースより、上記のような魅力的な遊具があるなら300円程度徴収されても良いと感じる。	ご意見として承ります。
93	【Ⅱ 建築計画 2階】 トイレは、各階に男女別、オムツ替えベッドも男性トイレ、女性トイレに作って欲しいです。授乳室、ミルク室、も同じ一角にカーテンなどで仕切って、ミルク室は、パパも入れる様な作りになって欲しいです。各階にあったら嬉しいですが、（1,3階,2,4階）飛ばし階でも良いので、検討お願いします。	幼児用トイレについては2階北側に、授乳室は2階キッズルーム内に設置します。また、2階男女トイレにも折りたたみ式おむつ替えベッドの設置を検討します。
94	【Ⅱ 建築計画 2階】 キッズルームに子どもは来るでしょうか。市の中心的な位置ではないので来づらいし来たとしてもそこで何をするのでしょうか。	0歳から子どもと親がのびのびと遊べる場や居場所づくりとして、子育てひろば事業を計画しております。
95	【Ⅱ 建築計画 2階】 授乳スペースには、粉ミルクでの授乳の場合もあり、水道やお湯がわかせるポットが設置できるようになっていますか。	電気ポット等の設置を計画しております。
96	【Ⅱ 建築計画 2階】 事務室の機能として「自治会等の地域コミュニティスペースを計画」と示されていますが、自治会活動の拠点として借用させていただきたいと願っており、少し、狭隘ではないかと感じています。	必要に応じて、活動室もご活用願います。
97	【Ⅱ 建築計画 2階】 乳幼児親子のためにスペース内への「おむつ替え・多目的トイレ」、授乳室にはシンクの設置も必須だと思います。	授乳室へシンクの設置を実施設計に反映します。 また、基本設計7ページに記載のとおり、おむつ替え・幼児用トイレを2階北側に設置いたします。

NO	意見要旨	市の考え方
98	【Ⅱ 建築計画 2階】 乳幼児親子・子どものためにスペースの安全を確保するため、出入口への施錠等、万全の態勢を整えてほしいです。「受付」の位置は出入口に設置すべきだと考えます。	基本設計7ページに記載のとおり、コーナー部へ受付を配置することにより、キッズルーム全体の見とおしを確保して、安全に配慮する計画です。また交流スペースとの扉はセキュリティ対策として常時施錠する計画です。
99	【Ⅱ 建築計画 2階】 講演会・講座時の「託児」は欠かせないものとなっている事を考慮し、託児室（トイレ完備）の設置についても検討して頂きたいです。	託児室に特化した部屋は設置しませんが、キッズルーム等の活用などを検討してまいります。
100	【Ⅱ 建築計画 2階】 キッズルームも他の利用ができるように設定できるとよいのでは。利用目的をどのようにするのか検討が必要です。	0歳から子どもと親がのびのびと遊べる場や居場所づくりとして、子育てひろば事業を計画しております。
101	【Ⅱ 建築計画 2階】 キッズスペースの面積に対して、オムツ替えの場所が幼児用トイレ1箇所というのは少ないのではないかと。	1階多目的トイレにおむつ替え用ベビーシートの設置を実施設計で検討してまいります。また、2階男女トイレにも折りたたみ式おむつ替えベッドの設置を検討します。
102	【Ⅱ 建築計画 活動室】 鏡のある部屋で板を敷いてフラメンコやタップの練習が出来ますか。 板はシューズに釘がある関係で施設を痛めないように敷いていて、活動している施設に保管頂いています。	一部の活動室において鏡を設置する計画となっておりますが、各活動室の床材はタイルカーペットかビニル床シートとなっているため、従来の活動どおり、板を敷いて練習いただく形になります。 なお、倉庫については、青梅市の備品の保管スペースとなっております。
103	【Ⅱ 建築計画 活動室】 3・4階の活動室には、絵画、書道等の展示用器具（ピクチャーレール）を設置して欲しい。	3・4階の一部活動室にピクチャーレールの設置を、実施設計に反映します。
104	【Ⅱ 建築計画 活動室】 音楽練習として少人数の練習の必要性は、多人数での練習の必要性と同等以上です。市内には「十分な」「防音設備のある」練習室は、私の知る限りありません。あまり大きな練習室（33平方メートル程度以上）は、実際にはあまり利用率が高くないと考えます。（「多人数に対応できる」ので、公益性が高いと考えるのは誤りです）民間の練習施設を調査し、実態と需要を検討ください。 具合的に次のように要望します。 ①7.425平方メートル前後の面積の防音室 アップライトピアノ1台設置 7部屋程度 ②16.5平方メートル前後の面積の防音室 グランドピアノ（小型でいいです）1台設置 3部屋程度	基本設計2ページおよび11ページに記載のとおり、今回の施設で計画している「活動室」は、音楽練習室として特化したものではなく、様々な活動に対応するよう計画しています。

NO	意見要旨	市の考え方
105	【Ⅱ 建築計画 活動室】 活動室について、各活動室の机や椅子は固定式ですか？多様な使用目的に対応できるよう、移動式が望ましいと思います。但し、その場合の机や椅子の収納スペースが無いようです。収納スペースの確保が望ましいところですが、床面積も減らしたくないので慎重な什器・備品の仕様検討を期待します。	活動室内の机や椅子は、備品調達の中で移動式を検討してまいります。
106	【Ⅱ 建築計画 活動室】 4階の活動室は移動式間仕切との事ですが、3階は全て固定の壁ですか？多種多様な使用目的に対応する為に、地下並びに3階もフレキシビリティを上げておいた方がいいのでは？構造上の問題ですか？	基本設計8ページおよび11ページに記載のとおり、地階は防音防振設計のため、3階は壁面大型鏡や調理台の設置のため、移動式間仕切りは計画しておりません。
107	【Ⅱ 建築計画 活動室】 3階は調理室やヨガ対応のような専門部屋を計画のようですが、であればこのフロアに防音設備を兼ね備えた部屋があっても良いのでは？音楽・演劇・ダンスのような文化的活動には制約の多い施設のように感じます。	大きな音が出る活動については、地下の防音室を御利用いただく計画です。
108	【Ⅱ 建築計画 活動室】 活動室について、既存の利用団体が無理なく利用できるのか、団体の需要を把握している各施設の担当者が集まりおよそのシミュレーションをして、過不足を検討してほしい。必要に応じて部屋の区割り等、まだ検討の余地がある。	活動室の数については、現在の4つの施設の稼働率や同時使用状況などの利用実績にもとづく調査・分析により部屋数を計画しております。
109	【Ⅱ 建築計画 活動室】 活動室は恐らく地下の防音室に人気集中しそうで、逆に3・4階の一部は空くかもしれない。もし空きそうな可能性があるなら、調理室や創作室を備えるべきでは。3階の壁面大鏡があるような大きな部屋に調理台は使いにくいと感じる。	3階の活動室について、鏡を設置する部屋と、調理台を設置する部屋は別々に計画します。
110	【Ⅱ 建築計画 活動室】 あれだけ盛んな青梅のお祭りですが練習も盛んだと思います。可能なら観光客がいつでもその練習風景が覗けるようなスペース（防音が必要かと思います）があったら面白いと思います。山車に関連する展示スペースがあるようですのでその近くが良いかと…	防音の活動室は地下に設置予定ですが、観光客に公開する計画はありません。
111	【Ⅱ 建築計画 活動室】 防音設備のある部屋は大小中何部屋あるのでしょうか。	地下1階は小活動室2部屋、中活動室2部屋、大活動室1部屋。1階は多目的ホールの合計6部屋となります。
112	【Ⅱ 建築計画 活動室】 各活動室の設備はどうなっているのでしょうか。（鏡やAV機器等の設備について）	基本設計8ページおよび11ページに記載のとおり、一部の活動室において鏡の設置を実施設計に反映します。 AV機器についても、一部の活動室において音響設備設置を実施設計に反映します。
113	【Ⅱ 建築計画 活動室】 会議室ではない、調理の設備がある調理室が必要と思う。	3階の活動室に調理台の設置を、実施設計に反映します。

NO	意見要旨	市の考え方
114	【Ⅱ 建築計画 活動室】 「活動室」に和室は入っていますか。和室は日本の伝統的なものでそこでしか出来ない活動もあると思います。	4階に2部屋を予定しております。
115	【Ⅱ 建築計画 活動室】 調理室や給湯室はどこかの階に作ってください。	調理室は3階の活動室へ実施設計に反映します。給湯室については、地下1階、3階、4階に予定しております。
116	【Ⅱ 建築計画 活動室】 日除け等についても検討が必要な居室があると思われる。	シェードやブラインド等の設置を計画しております。
117	【Ⅱ 建築計画 活動室】 活動室内部は、廊下スペースから見えるようになっていないか。用途によっては壁で囲った方がよい会議室もあると思いますが、内部もなるべく可視化がすすめられていた方がよい。活動者の相互交流にもつながるかと思われます。	先に策定された青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書17ページに記載のとおり、一部の活動室については間仕切りにガラススクリーンを用いる計画となっております。
118	【Ⅱ 建築計画 活動室】 いくつかの活動室は稼働率が下がってきた場合にオープンスペースとして使えるような形にしておくのも一案。全体的に面積が少ない公共施設だが、将来的には、活動室よりも、パブリックなオープンスペース需要の方が確実に増えてくるだろうと思われる。ただし、そうしたオープンスペースをも、活用の際には賃貸設定して利用してもらうことも出来るので、そうした形で公共施設を活性化させていくような仕組みは考えてほしい。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
119	【Ⅱ 建築計画 活動室】 活動室の防音対策に力を入れて、デザインより機能を優先したと思います。	地下1階については、防音機能もった活動室を計画しておりますが、3階、4階の活動室についてはフレキシブルな利用に対応可能な設計を行っております。
120	【Ⅱ 建築計画 3階】 3階平面図で大活動室2は、「災害時の地区対策本部として想定し整備を図る」と示されていますが、事務室が2階にあるため、例えば、青梅地区防災対策委員会の対策本部との連携が難しいのではないかと感じます。	無線機等の使用で連携を図ることを想定しております。
121	【Ⅱ 建築計画 3階】 3階の展示交流スペースも本当にこの広さが必要なのか再考いただきたい。そもそも3階まで上らないと人目に触れない展示スペースは意味があるのか？旧市民会館の展示スペースも中2階という、微妙な位置にあり需要は少なかったのではないかと。	展示交流スペースにはピクチャーレールやスポットライトを設置し、ストリートギャラリーのような利用を計画しています。
122	【Ⅱ 建築計画 3階】 3階の南東側に、地元のヒノキ材を敷き詰めた気持ちのいい空間をご提案いたします。ここで本物の木に触れた親子が、自分の家でも使いたくなるような、青梅ならではの木の遊び場を。	親子で過ごせる空間として、2階の南東側のキッズルームを計画しております。

NO	意見要旨	市の考え方
123	【Ⅱ 建築計画 4階】 4階活動室について、4階全体をフレキシブルな利用ができるようにする意図は理解できる。その上で、小1・小2・中2・中3活動室をすべて和室にしてはどうかと思う。代わりに和室1・2を小活動室1・2に置き換える。和室は床の部屋より多機能的に使うことができる。赤ちゃん連れのイベントも可能だし、会議もできるし、ヨガも太極拳も体操もできる。襖で簡単に区切ることもできる。また大きな利点は、ぶち抜きで大広間にできること。自治会館よりも広い広間はなかなかないので、需要はあるかと。宴席も受け付けて、適正価格の利用料を取る。方角的に花火もよく観えそう。緊急時の避難室としても使いやすいし、夜間は布団だけ貸出して簡易宿泊施設として使ってもよいのではと思う（観光地でありながら青梅駅前には宿泊施設が少ないので）	基本設計2ページに記載のとおり、4階活動室については、利用目的・人数に柔軟に対応し、展示等を行える環境を計画しています。イスの使用を前提とし、和室は計画しておりません。花火鑑賞等のイベントは今後検討してまいります。
124	【Ⅱ 建築計画 展示スペース】 展示スペースが各階にあるが、前の市民会館のような個室になっていないので、展示をしたいときにはどのような使い方になるのかよくわからない。4階の可動型展示パネルを活用するようになるのでしょうか。	展示交流スペースにはピクチャーレールやスポットライトを設置し、ストリートギャラリーのような利用を計画しています。具体的な使用方法等については、今後検討してまいります。
125	【Ⅱ 建築計画 屋上】 屋上ですが、空調設備の位置をずらせませんか？理由は新施設の屋上から長淵丘陵方向を眺望できたら新緑の季節などにはなかなかいい景色が期待できます。特に市外から来青梅された方にその景色を楽しんでいただくには空調設備が邪魔かな？と感じます。永山方向もいい景色です。そちら側も景色が楽しめるような工夫が欲しいと感じます。青梅は祭りも盛んです。その祭りを見学する場所として屋上が利用できるように感じますので通りに面した場所は景色や祭りを見る場所として考えられたらうれしい気分です。現状ですと商店街の屋根が見えるだけで楽しくないかな？と感じますがいかがでしょうか？	屋上の室外機置場の配置変更はできません。青梅大祭や永山方向については3階、4階テラスでも見る事が可能と考えております。
126	【Ⅱ 建築計画 屋上】 屋上テラスは、市街地になかなか存在していない30-40人で使えるようなパーティスペースの代わりとして、イベント活用できるようなオペレーションを可能にしてもらいたい。おそらく旧青梅市街地では、バリアフリーに対応できる飲食施設もないため、そういう意味でも画期的な他にないスペースとして使えると思います。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
127	【Ⅱ 建築計画 テラス】 3階4階縁側テラスについて、テラスデッキはワンフロアで充分かと感じる。3階部分は広めの展示交流スペースと縁側テラスとの一体利用で「地域コミュニティの活性化」を図るとあるが、具体的にどういった使われ方なのかイマイチ検討もつかないので、3階縁側テラスはつぶして学習室にしたい。図書館にあった学習室は学生などに多く利用されていたと思うし、河辺の中央図書館の学習スペースもいつも混んでいるので需要は大きいと思う。	堅苦しくない縁側のような空間を大きく取る計画となっています。

NO	意見要旨	市の考え方
128	【Ⅱ 建築計画 テラス】 4階テラスに、3階テラスへの光天井がとってあるが、不要と思います。	先に策定された青梅市新生涯学習施設（仮称）基本計画書 17 ページに記載のとおり、吹き抜け空間等で新たな交流や創出のきっかけを生み出す仕掛けづくりとして設置しております。
129	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 収納スペースについて、絶対的な倉庫面積が少ないと思います。本施設に更なる倉庫面積の確保を求める事は（現状のデザインでは）不可能だと思いますので、本施設完成後に取り壊される予定の他施設を「備品保管庫」として整備して頂く事は可能でしょうか？	廃止施設の跡地のあり方につきましては、今後検討してまいります。
130	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 現在、永山ふれあいセンターで麻雀教室を行っています。使っている麻雀用具の持ち運びが出来ないので、置ける倉庫スペースが欲しいです。	倉庫については、青梅市の備品の保管スペースとなっております。
131	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 地下1階に防音機能を備えた活動室が計画されていますが、容積が小さく、少人数の使用に限られそうです。太鼓や楽器の練習や演奏には釜の淵市民会館に比べ劣ります。 メンテナンスをしっかりと、釜の淵市民会館を使えるようにしてください。	活動室の数については、現在の4つの施設の稼働率や同時使用状況などの利用実績にもとづく調査・分析による部屋数を計画しております。また、釜の淵市民館については、青梅市公共施設再編計画に基づき青梅市新生涯学習施設（仮称）完成後、閉鎖していく方針です。
132	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 防災倉庫について、災害発生時の緊急対応としての活用も目的としているホールに隣接する位置に、防災倉庫があった方がいいのでは？自家発もあるようなのでEVを使用できる事が前提かと想像しますが、「いざ！」という時に防災倉庫からの出庫にはある程度の人手が必要になる事が予想されますので、極力少人数で対応できる動線の確保が望ましいのでは？	多目的ホール周辺に防災倉庫の設置が困難であるため、地下に計画しております。なお、エレベーターは非常電源の供給はございません。
133	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 防音できる地下に更衣室を置くのはもったいない。この場所はピアノ常設の1部屋とし、4階のエレベーター横の展示交流スペースを更衣室にする。もしくは交流スペースを削ってもう一部屋作る等。	地下の更衣室については、管理者用として使用を想定しています。4階の展示交流スペースは桜などで眺望が良いこともあり、設置をしました。
134	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 地下1階の倉庫1はかなりのスペースだが、倉庫2もあわせてこのスペースが本当に必要なのか。4施設の倉庫面積を合計すると200㎡とのことだが、同一施設になることで、200㎡よりも省スペース化されることが想像される。荷物を片側にまとめて余ったスペースを活動室として使えるなら。	4施設（青梅市民会館、永山ふれあいセンター、釜の淵市民館、青梅市民センター）に保管されている備品を収納する予定です。
135	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 地下防音室を、各種市民相談の場所として活用できないか。	基本設計2ページおよび11ページに記載のとおり、今回の施設で計画している「活動室」は、専用室として特化したものではなく、様々な活動に対応するよう計画しております。

NO	意見要旨	市の考え方
136	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 控室について、基本設計では活動室を充てるとしてありますが、1階には存在しないため、他階の中でやりくりせざるを得ない状況です。多目的ホールとの連携は地下活動室を想定されているようですが、会場申請時に優先的に地下活動室を確保できるようになりますか。	地下1階の小活動室1を控室として利用できるよう、実施設計に反映します。関連する施設については、ホール予約と同時に予約できる計画です。
137	【Ⅱ 建築計画 地下1階】 1階の展示交流スペースは内外でつながりをもってまちから気軽に入れるような場所が良いと考えるが、現計画では外側にドライエリアがあり分断されている。地下のプランを調整し、ドライエリア範囲を変更してはどうか。	地下の活動室を可能な限り設置した結果、必要なドライエリアのため、変更は困難です。南北エントランス等から入る形になります。
138	【Ⅱ 建築計画 外観】 外観に採用する木調ルーバーですが、擬木樹脂製で安っぽいテクスチャにみえる色味のものは避けてほしい。	ご意見として承ります。
139	【Ⅱ 建築計画 外構】 通りに面したエントランス前の植栽を多くしてほしいと感じます。落ち葉の掃除が大変だとは思いますが夏は日除け冬は採光できる落葉樹を望みます。	基本設計5ページに記載のとおり、ひろばを青梅マラソンや青梅大祭等、イベントに対応できる設備として計画しております。そのため、植栽は必要最低限としています。樹の種類についてはご意見として承ります。
140	【Ⅱ 建築計画 外構】 青梅街道に面した南側ひろば内に植栽の計画があります。このスペースは、青梅大祭本部用として借用させていただきます場所にありますので、設営上支障となることが考えられることから植栽の位置の検討をお願いいたします。	関係諸法令により植栽は必要ですが、必要最低限としています。詳細な配置につきましては、実施設計で検討してまいります。
141	【Ⅱ 建築計画 外構】 道路に隣接の建物前の「ひろば」にはイベントや災害時にテント等を張れるような植栽計画をお願いいたします。	基本設計5ページに記載のとおり、関係諸法令に基づき植栽を計画いたしました。詳細な配置につきましては、実施設計で検討してまいります。
142	【Ⅱ 建築計画 外構】 駐輪場について、北面の9台分だけですか？現状の市民センターの使用状況だけと比較しても足りないと思います。	青梅市新生涯学習施設（仮称）の敷地には、法令で規定される駐車場（障がい者用、荷捌き用含む）や緑地を配置する中で、駐輪場については可能な限りの台数を確保したものです。なお、イベント時の駐輪場については適宜検討してまいります。
143	【Ⅱ 建築計画 外構】 北面の七兵衛通りは、小中学生の通学路です。今回の計画と併せて、（可能であれば裏宿町まで）安全に通行できる歩道の整備を行う事は可能でしょうか？	基本設計5ページに記載のとおり、市民会館北側道路については、駐車場の整備に伴い、道路整備も行いますが、裏宿町方面については、拡張できる環境ではないため整備は困難です。

NO	意見要旨	市の考え方
144	【Ⅱ 建築計画 外構】 ひろばの地面も安全が第一ですが可能なら全面コンクリートではなく市役所駐車場のように少しは草が生じるような方式を期待します。	実施設計時に検討させていただきます。
145	【Ⅱ 建築計画 外構】 ひろばで、通りから車が侵入してこないような安全対策がイメージ画からは見えませんが頻発する高齢者ドライバーによる事故などを考えると少し心配です。いかがでしょうか？	安全対策につきまして、実施設計で検討してまいります。
146	【Ⅱ 建築計画 外構】 新施設周辺には電柱が残るのでしょうか？小池都知道が進めようとしている電柱地中化などをこの際取り入れて青梅駅から新施設までの区間を都と連携して電柱を地中化したらいかがでしょうか？もう間に合いませんか？	青梅市新生涯学習施設（仮称）の建設と連動した埋設の予定はありません。
147	【Ⅱ 建築計画 外構】 青梅街道に面する“ひろば”は山車が入れるような丈夫な構造にしていきたい。	実施設計時に検討させていただきます。
148	【Ⅱ 建築計画 外構】 建物周辺の空地スペース、屋上庭園や展示スペースなどに小さくてもよいので、多数のベンチを配備すべき。飲食スペースでテイクアウトした飲料食料であれば、それらを持ち込んで館内でも飲食できるよう、開かれた施設として運用して欲しい。	基本設計6ページに記載のとおり、展示交流スペースとひろばを一体的に利用可能とし、椅子等を設置して解放空間とする計画をしております。 また、館内での飲食は、管理上の支障が無い範囲で認めて行く計画です。
149	【Ⅱ 建築計画 外構】 敷地の外構には施設を囲うように緑化スペースは西側に集中できないか。東側に関しては舗道も狭く、つつじなどの立ち上がりのある花壇スペースを作ったの植物はふさわしくない。南側、北側、西側南半分にはベンチを配備すべきでは。	西側は商工会議所の駐車場があり、また、法令上必要な緑化面積の確保等により、現状以上の設置が難しい状況です。ベンチの配備については、実施設計で検討してまいります。
150	【Ⅱ 建築計画 外構】 ひろばと展示スペースが一体的に利用可能となる計画ですが、ひろばから直接展示交流スペースに出入りすることは可能でしょうか。	基本設計6ページに記載のとおり、全面開放可能な建具を採用し、一体的に利用可能にしております。

NO	意見要旨	市の考え方
151	【Ⅱ 建築計画 外構】 パースをみると建物入口部分に前庭が広くありゆったりした溜まり空間が見受けられるが、平面上では附置義務の駐車スペースとなっており、実際に広々とした外部空間が確保できるのか疑問に思われる。 せっかくの公共空間なので、ゆったりと溜まれる広場空間を確保し、ベンチや案内板なども設置されていると望ましいと思われる。 外構部の素材にしても、入口周りの部分だけでも歩行者が溜まりたくなるような床材を使うなどして、外部空間の充実を図ってほしい。	ひろば駐車場の安全対策につきましては、徹底してまいります。床材等については、ご意見として承ります。
152	【Ⅱ 建築計画 外構】 子供達の利用もあるので、駐輪場も広い方がいいと思います。	青梅市新生涯学習施設（仮称）の敷地には、法令で規定される駐車場（障がい者用、荷捌き用含む）や緑地を配置する中で、駐輪場については可能な限りの台数を確保したものです。なお、イベント時の駐輪場については適宜検討してまいります。
153	【Ⅱ 建築計画 外構】 駐輪スペース8台？は現実的ではない。外ひろばに置く放置自転車かふえないか？駐車場対策に駐輪スペースも考慮を。	青梅市新生涯学習施設（仮称）の敷地には、法令で規定される駐車場（障がい者用、荷捌き用含む）や緑地を配置する中で、駐輪場については可能な限りの台数を確保したものです。なお、イベント時の駐輪場については適宜検討してまいります。
154	【Ⅱ 建築計画 全体】 小中高大生など学生や一般市民が勉強が出来る、ひとつの階があれば良いと切に願います。中央図書館の3階、4階の様にそういった施設があれば、勉強をする学生や、さまざまな年齢の方の姿が見られますが、青梅駅周辺の子供達には、そう言った施設が無いのは可哀想です。近くに小中だけではなく、高校や大学もあるので、利用者もいると思います。また大人の方も利用する人がいると思います。そのフロアーには、職員がいてキッチンと管理をして、良い環境を作る事で勉強に集中出来る場になると思います。習い事など集団の利用者だけでなく、個人でも気楽に利用できる施設になると思います。市民の施設なので、人々が行き交う場であってほしいです。	常設の学習スペースは、計画しておりませんが、交流スペースを学習に活用できると考えております。また、管理については職員の常駐ではなく、防犯カメラによる管理を計画しています。
155	【Ⅱ 建築計画 全体】 小中高生が自習などで使えるテーブルイスを配備したスペースが館内にあると良い。	常設の学習スペースは、計画しておりませんが、交流スペースを学習に活用できると考えております。
156	【Ⅱ 建築計画 全体】 館内フリーwifiの設置を。ベンチ、カフェ、自習スペースに来る人が常に集まってくる理由にもなるので。	W i - F i の設置を検討していきます。

NO	意見要旨	市の考え方
157	【Ⅱ 建築計画 全体】 モジュラージャック、LANは市職員には一般的だが、世は無線LANやWiFiを望む。全館通して「WiFiつながる」は海外観光客にも魅力。1Fスペースに中央図書館でのインターネット検索パソコンを設置するのも良いのでは。1小・1中・多摩高生の地域しらべ学習、生涯学習の一助となり社会教育施設たりえる。	Wi-Fiの設置を検討していきます。
158	【Ⅱ 建築計画 全体】 緑側・テラスが南側（道路）を向いていますが、北側（山・梅岩寺方向）向きとし、景色を楽しめる工夫をしていただきたいです。	北側については、4階の展示交流スペースや東側の各活動室、屋上テラスで景色が楽しめると考えております。
159	【Ⅱ 建築計画 全体】 全館を通じ内装・備品への地元木材使用をお願いいたします。特に乳幼児・子どもが集うスペースの床・幅木・壁には天然の多摩産材を使っていたきたいです。「木」には心を落ち着かせ安定させる力があります。併せて、アレルギーのある方への配慮も考えた建材・塗料を使っていたきたいと思います。	基本設計29ページに記載のとおり、キッズルームについては壁材に多摩産木質材の使用を計画しております。
160	【Ⅱ 建築計画 全体】 地元在住の木工作家の皆さんによる椅子・テーブル等も置いていただけると話題性もあり、そこから特産品として広めていけるのではないのでしょうか。	ご意見として承ります。
161	【Ⅱ 建築計画 全体】 中高生等（ティーン）が予約なしで利用できる「場所」を設置して頂きたいです。コンビニエンスストア・ゲームセンターの利用には金銭が入用、また商業施設のフリースペースコーナーの利用条件も限定されつつある中、公共施設内における「安心して過ごせる場」の提供は今後益々重要となってきます。1階を見下ろせる2階に中高生のためのスペースがあるもの良いのではないのでしょうか。また、中高生が利用できる音楽スペース（スタジオ機能）を設置する等、「仲間同士、ともに育ちあえる居場所」があると若い世代にとっても魅力ある施設になると思います。	中高生が予約なしで利用できるスペースとしては、各階にある交流スペースを想定しております。また、予約が必要ですが、音楽スペースとしては地下の防音活動室を想定しております。
162	【Ⅱ 建築計画 全体】 生涯学習施設として大切なのは、子どもから大人まで生涯にわたって、ここでの体験が出来る施設という事かと思います。青梅市の広さを考えますと、乳幼児に関しては、できるだけ生活しているエリアに近い所での居場所が必要かと思いますので、キッズルームには乳幼児ではなく、むしろ中学生・高校生・若者の集まる場所を確保すべきかと考えます。	キッズルームについては、子育てひろば事業を計画しております。中高生が利用できるスペースとしては、各階にある交流スペースを想定しております。

NO	意見要旨	市の考え方
163	【Ⅱ 建築計画 全体】 高校生・若者の利用を促す機能があったらよいのではと思います。	今後、管理運営を検討する際の参考とさせていただきます。
164	【Ⅱ 建築計画 全体】 今回、ティーンエイジャーのための場所が無いことが非常に残念で、彼らが魅力を感じるような場を提供することと、この施設のセールスポイントになるような場所ということで、「みんなのリビング」としてオープンに利用することをご提案いたします。	中高生が予約なしで利用できるスペースとしては、各階にある交流スペースを想定しております。
165	【Ⅳ 電気設備計画】 屋上にはスペースがないようですが太陽光発電をどこか（例えば窓ガラスで）でとか雨水の活用（中水道、植栽への散水利用等）等、環境配慮が計画書からあまり読み取れないのですがどのような状況でしょうか？建物は坂上に位置しています。季節によっては多摩川方向からの自然な風を利用した自然空調が可能なのでは？と考えますがいかがでしょうか？手動で窓は開けられますか？教えてください。通りの騒音がかなり考えられるようでしたら無理かと思いつつの質問です。	基本設計１７ページに記載のとおり、太陽光発電については、屋上テラス利用に伴い、太陽光パネルの有効設置スペースが確保できないため、設置は行いません。 雨水再利用についても基本設計２３ページに記載のとおり、ランニングコストが上回り、減価償却不可となるため不採用となっております。 また、基本設計２２ページに記載のとおり、省エネルギーかつ資源の有効利用を考慮したシステムとして、ガスビルマルチエアコン、ナイトページ機能付き空調換気扇、節水型衛星器具、潜熱回収型のガス給湯器、ＣＯ２センサーによる換気システムを計画しております。なお、窓については可能な限り開閉できる計画です。
166	【Ⅴ 機械設備計画】 屋上に災害用設備を希望します。（ソーラーパネルや貯水タンク）	基本設計１７ページに記載のとおり、太陽光発電については、屋上テラス利用に伴い、太陽光パネルの有効設置スペースが確保できないため、設置は行いません。 また、基本設計２１ページに記載のとおり、給水設備については、直接給水方式を計画しており、貯水タンクの設置は行いません。 災害用設備としては非常用の発電機を実施設計に反映します。
167	【Ⅴ 機械設備計画】 東日本大震災以降、公共施設として防災や災害時対応を考慮することは、重要な設計ポイントであることは言うまでもないが、避難所としての機能において再検討をお願いしたい。	青梅市新生涯学習施設施設（仮称）においては、長期的な避難所としてではなく、一時的な避難場所としての機能を持たせるように想定しております。
168	【Ⅴ 機械設備計画】 実際どのようなエネルギーが有効であるかについては、政府策定のエネルギーとして、ＬＰＧを再検討出来ないか。災害時の復旧を考えると、個別に供給される場合、建物の安全性が確保された時点で復旧が可能になるため、すぐに利用が可能になる。	GHP（ガスヒートポンプ）空調について、都市ガスとＬＰＧについて比較した結果、 1、一般的な基本料金で算出した結果、年間ランニングコストについて、かなりの差があること。 2、ガスコンロ等を、防火上の観点から設置しない方針であること。 3、ＬＰＧを設置する場所が取れないこと。 以上の理由によりＬＰＧは不採用としております。
169	【Ⅴ 機械設備計画】 雨水の利用はあきらめたとしていますが、太陽光発電の設置については触れられていません。設備のコストはかかっても、５０年６０年と耐用年数のある建物ですから、自然エネルギーを利用されることを望みます。	基本設計１７ページに記載のとおり、太陽光発電については、屋上テラス利用に伴い、太陽光パネルの有効設置スペースが確保できないため、設置は行いません。また、基本設計２２ページに記載のとおり、省エネルギーかつ資源の有効利用を考慮したシステムとして、ガスビルマルチエアコン、ナイトページ機能付き空調換気扇、節水型衛星器具、潜熱回収型のガス給湯器、ＣＯ２センサーによる換気システムを計画しております。

NO	意見要旨	市の考え方
170	【Ⅶ その他の計画】 市役所の様に、地下に駐車場があると利用者がより増えると思います。	地下については防音機能を有した活動室の設置を計画しております。従来どおり、施設北側の駐車場を利用いただく事になります。
171	【Ⅶ その他の計画】 今までの市民会館は、駐車場のスペースが少なくて利用しにくかった。駐車出来ないと思ってあきらめて行かない時もありました。駐車場のスペースを広く確保して頂きたい。（計画案A）	基本設計27ページに記載のとおり、駐車場の整備については、駐車場運営業者による民間委託を視野に入れて、検討を行ってまいります。
172	【Ⅶ その他の計画】 駐車場について、アンケートでもダントツに多くの方が懸念していた駐車場問題。ここが全くクリアになっていないことが大きな不安材料である。駐車台数も建設コストもA案の方が勝っているのに、なぜB案になるのか？また建物内の地下2階に地下駐車場は設置できないのか。断面計画を見ると地下1階の下に2m程の空間があるが。またそれでも全く台数的に足りないと思うので、近くの現青梅市民センターを更地にして第2駐車場として利用できないか。今後青梅駅前開発もあると聞いているが、いくら開発しても十分な駐車場がなければ立ち寄ることができず全くもったいない。開発時は大型駐車場の検討もあわせてお願いしたい。現状、駅前通りに気になるお店があっても、車を停めにくいので通り過ぎるばかりである。	基本設計27ページに記載のとおり、駐車場の整備については、駐車場運営業者による民間委託を視野に入れて、検討を行ってまいります。また、駐車場を地下に設置する予定はありません。 現青梅市民センターのあり方については今後、検討してまいります。
173	【Ⅶ その他の計画】 駐車場について、市民会館の時と同様に関係者用としての許可等は可能になりますか。	ホールイベントの際の大型の搬入車両等については、一般の車両とは別扱いを計画しています。
174	【Ⅶ その他の計画】 駐車場収容台数100台ベースの確保が必要と思われます。障がい者や乳児連れの親子が安全に利用できる駐車場であることも大前提だと思えます。	基本設計27ページに記載のとおり、駐車場の整備については、駐車場運営業者による民間委託を視野に入れて、検討を行ってまいります。
175	【Ⅶ その他の計画】 駐車場の駐車台数はできるだけ多いほうがよいと思います。しかし、その広い土地は、駐車場だけにしか利用できないのでしょうか。もっと有効に活用すべきではないでしょうか。現在の計画で満たすことが難しいのであれば、この駐車場の場所を利用してはいかがでしょうか。シダレザクラもよく見える場所です。青梅市活性化のためにもっと工夫をすべきです。	建築基準法にもとづく日影規制等から、現在の駐車場の位置に建設することは難しい状況です。 また、駐車台数については、基本設計27ページに記載のとおり、駐車場の整備については、駐車場運営業者による民間委託を視野に入れて、検討を行ってまいります。
176	【Ⅶ その他の計画】 大型バスの駐車場所を1台でも確保できないか。観光客が来るきっかけにもなると思う。	施設利用者の駐車場として計画しているため、大型バスについては対応できません。

NO	意見要旨	市の考え方
177	【Ⅶ その他の計画】 新生涯学習センターの新駐車場について、中心市街地への観光客誘致推進のため、現在住江町駐車場のみとなっている大型バスの駐車スペースが確保出来るよりも良いと思います。	施設利用者の駐車場として計画しているため、大型バスについては対応できません。
178	【Ⅶ その他の計画】 新生涯学習施設周辺に新たに設置する信号機について、待ち時間が表示される『ゆとりシグナル信号機』を採用して欲しい。	信号機については、警視庁にて設置が行われます。
179	【Ⅶ その他の計画】 市民会館前の交差点の改良が計画されています。新生涯学習施設センターの利用者は、高齢者多いことが想定されるとともに、同交差点は青梅第一小学校の通学路にもなっています。つきましては、歩行者の安全確保のため、青梅駅前交差点のような歩車分離式信号の導入や「ゆとり信号機」の採用をお願いします。	信号機については、警視庁にて設置が行われます。
180	【Ⅶ その他の計画】 都道28号青梅・飯能線から付替道路への進入は、「既存道路が狭いため付替道路への右折は禁止」となっております。しかし、東青梅・青梅駅方面からの利用者は大変不便に感じます。何か、解消策はあるのでしょうか。	警視庁へ確認を行いました。右折は難しい状況です。青梅街道から直進で御利用いただく形を想定しております。
181	【Ⅶ その他の計画】 市民会館前交差点の改良の計画では、青梅駅方面から西進車両の付替道路への右折が不可となっています。この場合、駐車場利用車両は図書館前交差点を右折して七兵衛通りを通行することになり、通学路にもなっている生活道路への交通流入が想定されます。つきましては、新たな交通規制に伴う影響について地元住民への説明と理解を十分得るとともに、周辺道路も含めた交通安全対策を図ることをお願いします。特に、通学路の交通安全対策の徹底をお願いします。	安全対策につきましては、検討してまいります。
182	【Ⅷ 基本設計図】 「床材」については幼児が裸足で歩いても足に負担の少ない材木を使用して頂きたいです。また現在稼働している「子育てひろば」の利用者から「長く座っていると疲れる」「冬は冷たい」等の声が聞かれます。授乳室・幼児トイレ等の設置の必要と併せ、現在稼働している子育てひろば等に実情を担当者からヒアリングし、設計に取り組んでいただきたいと思います。	基本設計29ページに記載のとおり、床材についてはクッション付複合フローリング等、足に負担のかからない材料を計画しております。また、キッズルームのあり方については担当課と協議を随時行っているところです。

NO	意見要旨	市の考え方
183	【Ⅷ 基本設計図】 外観について、個人の趣味の問題ですが、極めて「普通」の外観だと感じます。奇をてらったデザインは期待していませんが、市外の本施設を知らない人が見た時に、何の印象も残らないのでは？「青梅らしさ」を意識した新しいランドマークとしてのデザインを期待します（青梅駅前の再開発計画との協調したデザインも視野に入れて欲しいです）。	西分町から森下町の青梅街道沿いを中心としたエリアは、江戸時代から昭和初期までに建てられた町屋、店蔵、看板建築などの歴史的建築物が街並みを特徴づけています。青梅市新生涯学習施設（仮称）の意匠については、景観アドバイザーの助言を踏まえ、これらの街並み景観を損なわないよう配慮し、町屋の格子をイメージした外観としています。
184	【Ⅷ 基本設計図】 デザインがとてもダサいと感じます。円筒形にしたら地震にも強く、デザインも素敵になるのでは？	西分町から森下町の青梅街道沿いを中心としたエリアは、江戸時代から昭和初期までに建てられた町屋、店蔵、看板建築などの歴史的建築物が街並みを特徴づけています。青梅市新生涯学習施設（仮称）の意匠については、景観アドバイザーの助言を踏まえ、これらの街並み景観を損なわないよう配慮し、町屋の格子をイメージした外観としています。